

# 令和2年度 特別区職員採用試験・選考を終えて

令和2年度特別区職員採用試験・選考は、12月10日(木)のⅢ類採用試験および障害者を対象とする採用選考の合格発表をもって終了しました。

## ○Ⅰ類採用試験の受験者数は大幅に減少

Ⅰ類採用試験については、全試験区分の採用予定数が1290名程度と、昨年度より206名減少しました。申込者数は1万7077名、受験者数は9659名となり、昨年度より申込者数は1285名の増、受験者数は3953名の減少となりました。全体の合格率は4.0倍で、昨年度の4.5倍から低下しました。今年度のⅠ類採用試験は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、第1次試験を5月から7月に延期しました。こうした対応等が、受験者数減少に影響を及ぼしたものと考えられます。

## Ⅲ類採用試験については、採用予定数138名程度に対し、申込者数は5283名、受験者数は3892名となり、昨年度より申込者数は888名、受験者数は229名それぞれ増加しました。合格率は9.8倍で、昨年度の7.7倍から上昇しました。

障害者を対象とする採用選考については、採用予定数90名程度に対し、申込者数は302名、受験者数は228名となり、昨年度より申込者数は20名、受験者数は6名それぞれ増加しましたが、合格率は2.3倍で、昨年度とほぼ同様の状況となりました。

## ○今年度の主な変更点

- ・児童相談所等での経験を求める採用制度について、業務経験の年数を見直すとともに、「児童福祉」及び「児童心理」の必要とする業務経験の範囲等を緩和しました。

## ○来年度へ向けて

特別区への関心を高めてもらい、特別区を就職先の第一希望とする受験者を増やすため、来年度の採用試験・選考へ向けたPR事業を開始しています。今年度においては、対面式の説明会等の実施が難しく、オンラインでの対応を進めています。例年実施していた「23区合同説明会」及び「特別区職員技術職採用フォーラム」について、各区・組合と連携し、令和3年1月29日(金)から各区・組合紹介動画及び技術職職員紹介動画を本委員会ホームページで動画配信しております。引き続き、オンラインの活用、各区・組合との連携を行いながら、PR活動を強化していきます。

## ○今年度の主な変更点

- ・児童相談所等での経験を求める採用制度について、業務経験の年数を見直すとともに、「児童福祉」及び「児童心理」の必要とする業務経験の範囲等を緩和しました。

採用区分	試験・選考区分	採用予定数(名程度)	申込者数(名)	受験者数(第1次)		合格者数(最終)	倍率A/B(倍)	
				A(名)	B(名)			
Ⅰ類	事務	906	14,339	8,121	1,741	4.7	5.7	
	土木造園(土木)	48	432	201	66	3.0	2.0	
	土木造園(造園)	10	143	102	33	3.1	1.6	
	建築	50	160	101	40	2.5	1.5	
	機械	30	89	75	48	1.6	1.6	
	電気	37	158	126	64	2.0	2.1	
	福祉	126	549	486	246	2.0	2.0	
	心理	38	273	224	73	3.1	1.7	
	衛生監視(衛生)	49	166	149	76	2.0	2.0	
	衛生監視(化学)	5	45	33	7	4.7	1.9	
	保健師	78	405	291	155	1.9	2.3	
	合計	1,290	17,077	9,659	2,385	4.0	4.5	
	Ⅲ類	事務	146	4,395	3,663	476	7.7	9.8
		障害者を対象とする採用選考(事務)	90	302	228	99	2.3	2.2
		事務	113	1,662	1,247	155	8.0	9.3
		土木造園(土木)	11	43	29	16	1.8	1.5
		建築	12	39	33	22	1.5	2.4
		機械	8	32	22	12	2.0	1.9
		電気	8	33	19	10	1.9	2.1
		福祉	22	69	60	28	2.0	2.0
		児童福祉	12	9	8	6	1.3	1.5
		児童指導	6	17	15	9	1.7	1.7
		児童心理	2	20	17	2	1.5	1.5
事務		45	1,080	809	57	14.2	14.3	
土木造園(土木)		6	43	31	7	4.4	4.1	
建築		6	53	41	10	2.5	5.7	
福祉		11	55	47	15	3.1	2.1	
児童福祉		6	8	2	1	1.8	1.0	
児童指導		5	11	10	5	2.0	2.0	
児童心理		2	5	1	1	2.5	1.0	
児童福祉		8	4	3	3	1.8	1.8	
児童指導		2	2	2	2	1.0	1.0	
児童心理		1	1	1	1	1.0	1.0	
合計		308	3,218	2,438	399	6.1	7.2	
水河期		事務	37	2,479	1,514	40	37.9	—

# 令和2年 特別区人事委員会 職員の給与等に関する報告 ～月例給は据え置き～

特別区人事委員会（委員長 中山 弘子）は、12月3日（木）、東京23区の各区議会及び区長に対し、職員の給与等に関する報告を行いました。ポイントは以下のとおりです。

## 〔本年のポイント〕

### 月例給の改定を行わない

職員の給与が民間従業員の給与を157円（0.04%）上回っている状況であるが、この較差は僅少であり、おおむね均衡していると言えるものであって、給料表や諸手当の適切な改定を行うことが困難であることから、月例給の改定を行わないことが適当

## 職員の給与に関する報告

### I 職員と民間従業員との給与の比較

#### ・公民比較の結果 月例給

民間従業員	職員	差
380,804円	380,961円	△157円（△0.04%）

#### ・本年の公民較差算出

差額支給者を公民比較から除外して公民較差を算出する、一時的、特例的な措置を執り公民比較を行った。（差額支給者を除外しない場合の公民較差は△3,071円）

#### ・差額支給

給料表の切替の際に特段の措置によって生じた差額支給者については、着実な解消を図るべきものである。任命権者においては、引き続き、差額支給の着実な解消に向けて、より一層の積極的な取組を講じられたい。（特別区人事委員会事務局）

## 人事・給与制度、勤務環境の整備等に関する意見

1 人事・給与制度	行政系人事・給与制度改正の結果及び検証	・管理監督職の多数を占める高齢層職員の退職や30歳台中盤から40歳台中盤の管理監督職の少ない状況においては、管理監督職の更なる拡充に向け、取組を一層進める必要
	人材の確保	・特別区が求める人材像である「自ら考え行動する人材」をより安定的に確保できる採用制度に向けた検討、取組が必要 ・ICTリテラシーの高い職員の採用試験・選考及び育成方法の研究 ・Ⅲ類採用試験で導入したスマートフォンからの申込の他試験への拡大 ・児童相談所等での経験を求める採用試験・選考について、より有為な人材を確保するため、受験資格の見直しを行った結果、申込者数が倍増 ・技術系職種での土木・建築新方式については、より効果的な広報活動の手法の検討に加え、試験内容について、更に専門性を問う試験問題にするなどの検討 ・特別区の持つ魅力を受験者に伝えるべく、関係機関が十分に連携し、PRを図っていく必要 ・オンラインによる積極的なPR活動を検討
	人材の育成	・人事評価制度においては、職員一人ひとりの制度理解を深め、透明性・納得性を高めていくとともに、評価結果を昇任・昇給により反映し、職員の職務に対するモチベーションの向上につなげていくことが重要 ・任命権者においては、人事評価制度について分析・検証を行い、他区の先進的な事例の積極的な導入や評価基準項目と連動した研修を実施するなど、公正・公平性の一層の確保及び人材育成への更なる活用に向け、たゆまぬ制度改善を行い、本制度の一層の充実に向けた取組を推し進める必要 ・任命権者においては、各職層において求められる役割を自覚させるための職層別研修の拡充や、職員の成長を促すための自己啓発やeラーニング等の更なる支援について進めていく必要 ・管理監督職を担う人材を育成する取組を推進することにより、将来的な管理職への昇任意欲の醸成や、組織の活性化につなげていく必要
	高齢層職員の能力及び経験の活用	・再任用職員には、これまで培ってきた専門性や有用な経験を活かした業務遂行に加え、職員の育成への貢献も期待されており、再任用職員の知識、経験及び技術が次代を担う職員に継承されていくことが肝要 ・管理職における現在の再任用の増加傾向が続くと、組織の新陳代謝の促進や職員の昇任機会確保等が課題 ・定年引上げに関する法案審議や他団体の動向を注視していくとともに、特別区の実態を踏まえながら、任命権者と連携して制度を検討
	会計年度任用職員への対応	・任命権者においては、引き続き適正な制度の運用に向け、会計年度任用職員に対する人事評価の実施や会計年度単位での職の見直し等に留意
	保育教諭等への対応	・引き続き保育教諭等という新たな職のあり方を統一的に整理するための検討が必要

2 勤務環境の整備等	多様で柔軟な働き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークの導入に当たっては、自然災害時や感染症流行時における業務継続の必要性に加え、職員それぞれのライフスタイルに応じた働き方を実現し、その結果として業務効率や生産性の向上に資する制度としていくことが重要</li> <li>・リモートでの業務遂行の課題を解決し、区の業務の特性を考慮しながらテレワークの導入及び定着に向けた取組</li> <li>・時差勤務制度については、働き方の選択肢のひとつとして、また、通勤混雑緩和にもつながるものとして、制度を活用</li> </ul>
	仕事と家庭の両立支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性別を問わず、仕事と家庭の両立支援制度を必要とする職員が十分に活用できるよう、より一層の推進が必要</li> <li>・男性職員の育児休業の取得率は年々上昇しているが、国の目標値には達しておらず、また、育児休業の取得期間についても、女性職員より短期間</li> <li>・男性職員の育児休業取得率等の更なる向上を目指し、育児休業を取得した職員の体験談を用いた周知や職場での理解促進のための取組等を継続することで、希望する職員が育児休業を取得しやすい環境づくりをより一層推進していく必要</li> <li>・職員の育児休業の取得期間については、個々の職員のライフプランに合わせ、希望する期間を取得できるよう留意し、個々の職員に応じた働き方が実現されるよう取り組んでいくことが重要</li> </ul>
	長時間労働の是正及び年次有給休暇等の取得促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各区においては、今後、時間外・休日労働に関する協定を踏まえた適切な労働時間の管理が求められる一方で、依然として長時間の超過勤務が恒常的に発生している部署があり、より一層、超過勤務の縮減に向けた不断の取組を進めることが必要</li> <li>・臨時的、突発的に超過勤務が増加する業務については、無定量に超過勤務に依存するのではなく、要因の整理及び分析を行い、超過勤務縮減に努めることが必要</li> </ul>
	メンタルヘルス対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンタルヘルス不調に起因する昨年度の休職者数が顕著に増加しており、より一層の対策が必要</li> <li>・メンタルヘルス不調の兆候がみられる職員には、管理監督者から積極的に声掛けを行い、十分に話を聞くなどして、早期発見及び早期対応することが重要</li> </ul>
	ハラスメントの防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各職員が研修を通じてハラスメントについて正しく理解し、自らの普段の言動を見返すなど、意識の向上に努めるほか、組織全体で問題意識を共有し、ハラスメント発生の兆候があった際には、組織の問題として迅速に対応することが重要</li> </ul>
3 区民からの信頼の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員による不祥事の発生は、区政に対する信頼を損なうばかりか、有為な人材の確保を阻害して、区民に対する行政サービスの提供に影響</li> <li>・働き方に大きな変化が生じはじめ、業務内容においても多様化、細分化、複雑化が進む中、特別区としての使命を果たすには、業務プロセスの可視化、効率化等を推進し、職員一人ひとりが職務に邁進できる職場環境の整備が必要</li> <li>・職員の意識啓発に取り組み、職員の高い倫理意識の醸成を図るとともにコンプライアンス意識の高い健全な組織風土の維持に向けて不断の努力を重ね、もって、区民からの信頼を確保</li> </ul>	

## 令和3年1月 区長会・議長会の主な案件等

### 区長会

1.15

■特別区における地方再犯防止推進計画の策定について

■令和3年度都区財政調整協議会について

■東京都後期高齢者医療広域連合におけるシステム障害の発生について（最終報告）

■後期高齢者医療広域連合協議会（1/8開催）報告について

■オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」事業について

■令和3年度各団体予算概要（案）等について

■特別区長会公務員制度部会について

■東京都・特別区・東京都医師会連絡協議会（二者協）及び東京都地域保健事業連絡協議会（五者協）関連事業について

■令和2年度第2回都区協議会及び知事と特別区長との意見交換会について

（特別区長会事務局）

### 議長会

1.18

■令和3年度都区財政調整協議会について

■特別区議会議員講演会（令和3年度第1回）について

■令和3年度議長会関係役職等について

■令和3年度議長会等会議日程について

■令和3年度議長会一般会計収支予算について  
（特別区議会議長会事務局）



# 「児童福祉司スーパーバイザー研修」を 実施しました ～児童相談所職員育成への取り組み～

## ◇新研修体系による研修の拡充

本年度から世田谷区、荒川区、江戸川区を皮切りに特別区における児童相談所の設置が進むことを踏まえ、特別区職員研修所では、令和2年3月に「特別区職員共同研修児童相談所関連研修計画（令和2年度～4年度）」を策定し、新体系のもとで研修を拡充して実施しているところです。新規の研修も複数立ち上げており、その中の一つに法定研修の「児童福祉司スーパーバイザー研修」があります。

## ◇児童福祉司スーパーバイザーとは

子どもや家庭に対する専門的な相談・指導、さらには児童虐待問題に携わる児童福祉司は、時には子どもを法的な強制力をもって一時保護したり、保護者の意に反して施設に入所させたりといった職務を担う場合があります。その際には、保護者の強い感情的反発にさらされることも少なくありません。このため、高い専門性と経験に裏打ちされた、子どもの命を守る使命感と実践力が必須となりますが、全国的に見て児童福祉司の勤務年数は、3年以下が約51%という状況にあります。

こうした中で急務となるのが、強いストレスや葛藤を抱える児童福祉司を支え、専門的な対応ができるようOJTを担う指導教育担当児童福祉司、いわゆるスーパーバイザーの育成です。スーパーバ

イザーは法で配置が義務付けられており、概ね5年以上の児童福祉司の勤務経験があること、そして、「児童福祉司スーパーバイザー研修」を受講・修了することが任用の要件となっています。

## ◇スーパーバイザー研修の実施

研修は、前期と後期に分け、前期を10月の3日間、後期を12月の2・5日間、全5・5日間の日程で、全国から第一線の講師を招聘して実施しました。研修専門機関としての当該研修の実施は、児童虐待関係の研修を担っている「子どもの虹情報研修センター」と「西日本子ども研修センターあかり」に次いで、全国で3例目となります。

カリキュラムは厚生労働省が示す基準を網羅する形で組んだほか、前期と後期の間に職場で職員を指導教育する実践期間を設け、管理職や指導を受けた側からの感想・評価等のフィードバックを受けるといった実践的な内容を織り込んでいます。また、本研修では、多くの東京都職員も参加し、活発な討論を行いながら共に学び、子どもの命を守る」という意識の共有を深めました。

受講生からは、「日々の業務の忙しさを忘れていたこと、無理だと思っていた

ことにくさびを入れてもらえた」、「意見を出し合うことで自分では見えなかった視点に気づくことができた」、「危機管理をしていく必要性を再認識すると共にチームマネジメントの重要性を学べた」等の意見・感想が寄せられました。

## ◇さらなる児童相談所関連研修の充実へ

子どもの最善の利益を守るのが、児童相談所職員のみならず、子どもと家庭の福祉に関わる全ての自治体職員のテーマです。一人ひとりが意識を高め、専門性を身に付けることが不可欠であり、今後も児童相談所関連研修の一層の改善、拡充を進めていく予定です。

(特別区職員研修所)



**特別区自治情報・  
交流センター  
休館のお知らせ**

図書館システム変更作業に伴い、左記の月日は休館とさせていただきます。休館中は資料の貸出、予約と返却を中止いたします。

ご不便をおかけしますが、利用者の皆さまには、ご理解のほどお願い申し上げます。

▼図書館システム変更作業に伴う休館  
令和3年3月19日(金)

▼開館時間の変更について  
新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間中は、平日夜間の開館時間を短縮します。

午前9時30分～午後5時  
※土曜日は通常どおり午前9時30分から午後5時

※感染症の拡大状況に応じて、今後サービスを変更・中止することがあります。

【問合せ先】  
(公財)特別区協議会 事業部  
調査研究課  
特別区自治情報・交流センター  
電話 03(52110)9051  
(特別区協議会事業部)



# 東京都立大学 オープンユニバーシティ飯田橋キャンパスより 2月開講講座のご案内です！！

※パソコンやタブレット、スマートフォンを通じての<オンライン形式>講座となります。  
Zoom アプリ（無料）を使用します。

## ●日本の火山 最新研究と火山災害 【講座コード：2041G102】 (火山災害研究センター)

本研究センターは、専攻を超えた横断的な研究連携によって、長期的な視野に基づく火山災害研究を総合的に進める代表的な研究拠点であり、その最先端の研究成果を4回のシリーズで紹介していきます。

第1回：日本・東京の火山と火山災害

第2回：火山防災の体系と噴火時の避難行動実態

第3回：地理情報科学から見た火山災害

第4回：伊豆諸島北部におけるテフラ層序と火山噴火史

講師：鈴木 毅彦（すずき たけひこ）教授  
東京都立大学火山災害研究センター長 ほか  
日程：2/20・27（土）15：00～16：30、  
3/6（土）13：30～15：00・  
15：20～16：50（全4回）  
受講料：10,100円 ※高校生無料  
場所：オンライン形式

## ●「私」が美しいと判断する、「みんな」は？【講座コード：2041F003】 イマヌエル・カント『判断力批判』から考える

この講座では、西洋哲学の古典的名著であるカントの『判断力批判』を取り上げます。古来哲学が問題とする「真・善・美」のうち、この著作が主要なテーマとするのは「美」です。カントが美に関して問うのは、「私」が何かを美しいと判断するとき、「みんな」がそれをそう判断すると考えられるかどうか、ということです。カントにとって「美」は、実は「私」と「みんな」をめぐる、ひいては「共感」の問題でもあり、こうした点に、20世紀の卓越した政治思想家であるハンナ・アーレントは、重大な政治哲学的意義さえ見出しています。この講座では、人間が「美しい」と判断することに潜む、「私」と「みんな」のから

くりについて考察してゆきます。

※参考図書：以下のテキストを購入しておくとう便利です。  
『判断力批判』（上）カント著、篠田英雄訳（岩波文庫）  
1,067円（税込）

講師：渋川 優太（しぶかわ ゆうた）  
東京都立大学非常勤講師  
日程：2/20～3/13 土曜 全4回  
時間：16：00～17：30  
受講料：10,100円  
場所：オンライン形式

\* 講座の概要については、東京都立大学オープンユニバーシティパンフレットより引用しております。（特別区協議会事業部）

※特別区職員互助組合員の方は初回のみ、必ずお電話で同組合員である旨と『組合員番号』をお申し出ください。

<問い合わせ先>

東京都立大学オープンユニバーシティ <https://www.ou.tmu.ac.jp/web/>

Tel.03-3288-1050（平日 9：00～17：30）

●パンフレットを無料送付いたします。

# 焼却灰資源化への取り組み 埋立処分量の削減を目指して

東京二十三区清掃一部事務組合（以下、「清掃一組」という）は、東京23区内の清掃工場を管理・運営しています。

清掃工場で可燃ごみを焼却すると、主灰と飛灰という焼却灰が発生します。発生した焼却灰の多くは東京湾にある最終処分場に埋め立てていますが、最終処分場は限りある施設であり、新たな処分場を確保することは極めて困難です。そのため、清掃一組では、今の処分場をできる限り長期に利用できるよう焼却灰の資源化に取り組む、処分場の延命化に努めています。令和元年度の焼却灰資源化実績は約4万5290トンで今後

埋立処分量の削減及び資源の有効利用を推進していきます。今回は、焼却灰の資源化事業のこれまでの推移や焼却灰の処理・輸送の取組状況についてご紹介します。

## 1 これまでの推移

清掃一組では、焼却灰の資源化の方法として、平成25年度からセメント原料化を試験的に開始し、平成30年度から徐冷スラグ化にも取り組んでいます。以前は灰溶融処理を行っていましたが、東日本大震災による電力のひっ迫及びコスト面等の課題があり、規模を縮小して進めていました。更に、セ

メント原料化などの有効性が認められたため、令和2年度から灰溶融処理を停止しています。焼却灰資源化量の推移は図1のとおりです。平成27年度の実績数量は5849トンで、搬入先は5か所の資源化施設でした。令和2年度の計画量は5万8700トンと5年で約10倍となり、搬入先は16か所と約3倍に増えています。また、令和2年度の搬出元清掃工場は、9月に搬入停止した江戸川工場とガス化溶融炉の世田谷工場を除いた17工場となり、順調に拡大しています。

## 2 焼却灰の資源化方法

### (1) 主灰のセメント原料化とは

主灰のセメント原料化とは、民間のセメント工場で製造する普通ポルトランドセメント（※）の代替原料として主灰を利用することです。セメントの原料には、石灰石、粘土、けい石、鉄原料等があり、粘土と主灰の化学組成には、ケイ素やアルミニウム、カルシウムなどが共に含まれているため、代替が可能です。これらの原料を

調査して焼成等を行うことで、セメントが製造されます。しかし、主灰にはセメント原料に不向きなものも含まれていますが、可燃ごみとして搬入されたものから鉄や金属類が出てきます（図2）。

セメント工場で選別されりサイクル資源となりますが、本来であれば入らないはずの水筒や鍋、針金などが混入しています。こうした不適正搬入の防止が課題の一つとなっています。 ※一般的な土木建築に利用されるセメント材として最も汎用性が高いセメントです。

### (2) 焼却灰の徐冷スラグ化とは

焼却灰の徐冷スラグ化とは、民間の溶融処理施設で焼却灰を溶融処理してゆっくりと冷却（徐冷）



図2 主灰選別後の異物

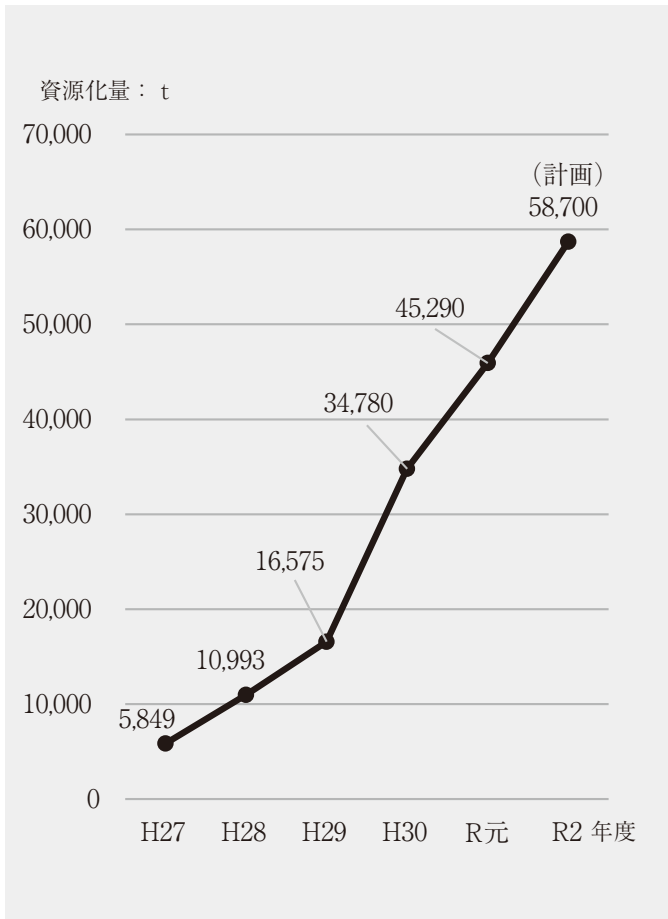


図1 焼却灰資源化量の推移



することで大きな岩石状のスラグを製造することです(図3)。徐冷スラグを用途に応じた大きさに破碎することで、石材や道路資材等に利用されています。

その他の特徴としては、主灰に比べて資源化しづらい飛灰を資源化できることです。塩素濃度が高いため、セメント原料化ではあまり資源化されていない飛灰も一定割合であれば処理が可能です。また、溶融処理工程で焼却灰中の金属(銅、金、銀など)を濃縮させたメタルも生成することができ



図3 徐冷スラグ

### 3 焼却灰の輸送手段

セメント工場などの資源化施設は東京23区内に所在していません。関東近郊に立地している施設もありますが、北は北海道から南は九州まで輸送しています。輸送手段は、近距離向けは車両のみで輸送しますが、遠方にはコンテナ

を用いて鉄道や船舶で輸送しています。

#### (1) 鉄道輸送について

鉄道輸送は、平成25年度から用いている輸送手段です。鉄道輸送のメリットは、一度に大量のコンテナ(図4)を長距離にわたって定期的かつ3日間程度で輸送できます。二酸化炭素排出量が少ない交通手段とも言えるので環境負荷を抑えることができます。

課題点は、年末年始やお盆などの大型連休には貨物列車が運休することや、台風、大雪などの悪天候の影響を受けると輸送が遅れることがあります。



図4 コンテナ輸送作業(鉄道)

#### (2) 船舶輸送について

船舶輸送は、平成27年度から用いている輸送手段です。船舶輸送のメリットは、一度に大量のコンテナを輸送することができ、コンテナは鉄道より更に大型化を図ることができ、また、台風などによる影響は、鉄道輸送よりも受けにくいです。

課題点は、車両が大型化するため搬出元の工場が限定されることと、輸送時間が航路により異なるものの1週間ほど日数がかかることです。焼却灰は輸送時間がかかるほど付着してコンテナから降ろしづらくなるため、注意が必要です。



図5 搬入の様子(船舶)

#### (3) 車両輸送について

車両輸送は、当日中に搬入できるので輸送中のトラブルが発生しにくい特徴があります。また、埋立処分場に搬入している車両をそのまま利用できるため、既存の清掃工場はどこでも搬出可能です。

このように輸送手段によりそれぞれ特徴があります。計画的な輸送ができるようリスク分散も考慮しながら、うまく組み合わせることで事業を推進していきます。

### 4 まとめ

東京23区内に新たな処分場を確保することは極めて困難です。埋立処分量を削減して最終処分場の延命化を図ることは、廃棄物行政における大きな使命の一つです。

セメント原料化や徐冷スラグ化においても、国内各地にある資源化施設の受入能力を最大限活用していくとともに、今後、他自治体等でも取り組みが増加することを見越し、経済面や技術面の検討を行うっていく必要があります。

今後も清掃一組は、持続的・安定的な廃棄物処理を行うため、焼却灰の資源化について積極的に取り組み、最終処分場の延命化に寄与していきます。

(東京二十三区清掃一部事務組合  
施設管理部管理課)



## 2020年の大井競馬を振り返って

### 【2020年TCKイメージキャラクター】

2020年のTCKイメージキャラクターは、昨年から続投の中村倫也さんに加え、今年から新たに起用した新田真剣佑さんが務めました。また、JBC2020のアンバサダーは中村倫也さん、新田真剣佑さんに加え、安田顕さんが務めました。

キャッチコピー「夜遊び方改革」を令和元年度から引き続き使用し、新たに「夜ケイバがあるじゃないか。」というキャッチフレーズも使ってナイター競馬のPRを行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響によりプロモーションを「場内」から「場外（自宅等）」にシフトし、在宅投票者向けの取り組みを強化しました。



### 【ダート競馬の祭典・JBC】

11月3日には、TCKでは3年ぶり8回目となるダート競馬の祭典「JBC」が行われました。今年は史上初の大井競馬場と門別競馬場の2場で開催され、JBCクラシック・スプリント・レディスクラシック、JBC3競走合計の売得金額においてJBC競走での地方競馬レコードを更新したほか、JBC1日売得金額が史上初めて2場合計で100億円の大台を突破しました。

また、JBCスプリント競走ではTCK所属のサブジュニア号が勝利し、2007年のフジノウェーブ号、2019年のブルドッグボス号に続く地方勢3勝目となりました。



<JBCレディスクラシック> <JBCスプリント> <JBCクラシック>

### 【東京大賞典】

12月29日には、ダートグレードの総決算レース・国際交流競走「東京大賞典（GI）」が行われました。日本全国からダートグレード戦線の強豪馬が集結し、ダート界の頂点を決めるレースとして、注目が集まるこのレースは昨年に引き続き、フジテレビとBSフジでレースの様子を生中継しました。

レースは、オメガバフェーム号が史上初の3連覇を達成。売上は1日合計で92億4,445万8,670円を記録し、東京大賞典1レースの売得金額60億7,444万7,400円は、地方競馬1レースあたりの売上レコードを更新しました。



<東京大賞典>

### 【騎手として初の快挙！的場文男騎手 黄綬褒章受章】

令和2年秋の褒章において的場文男騎手が黄綬褒章を受章いたしました。

的場騎手は、昭和48（1973）年のデビュー以来、これまで47年間にわたって騎手として努力と鍛錬を重ね、他の騎手の模範となる卓越した技術を習得して最多勝利記録を更新し続けており、馬の能力や競馬の魅力の向上、騎手の指導・育成等を通じて競馬の発展に貢献することで、畜産振興に寄与してきました。

東京シティ競馬（TCK）では、11月3日（火・祝）に受章報告会を、12月9日（水）に受章祝賀イベントを行い、テレビやインターネット上で快挙を盛大にお祝いしました。



<受章報告会の様子>

### 【開催状況】

2020年4月から12月までの開催成績は、1日平均の売得金額が前年同期比113.1%、場外発売所やインターネット投票利用者を含めた1日平均の総利用者数は前年同期比105.9%という結果でした。

SPAT4（地方競馬インターネット投票システム）など在宅投票の普及や帝王賞・東京大賞典といった大レースにおける全国規模での広報展開等により、売得金・利用者ともに前年を大きく上回ることができました。

（特別区競馬組合開催サービス課）

## 開催成績

（各回対比）

回別	開催日程	売得金額	利用者数	1日平均			前年度同時期対比（1日平均）		
				売得金額	利用者数	1人当り購買金額	売得金額	利用者数	1人当り購買金額
14	12/7~11	9,407,949,080円	885,695人	1,881,589,820円	177,139人	10,620円	118.8%	116.2%	102.2%
15	12/24,25~31	19,795,580,770円	1,634,525人	3,299,263,460円	272,421人	12,110円	97.7%	93.6%	104.4%





## 3月の開催予定

競馬開催日	①月	②火	③水	④木	⑤金	⑥土	⑦日	⑧月	⑨火	⑩水	⑪木	⑫金	⑬土	⑭日	⑮月	⑯火	⑰水	⑱木	⑲金	⑳土	㉑日	㉒月	㉓火	㉔水	㉕木	㉖金	㉗土	㉘日	㉙月	㉚火	㉛水
大井																															
川崎																															
船橋																															
浦和																															



### フジノウェーブ記念 (SⅢ)

●3月10日(水)  
●1,400m  
2013年までは東京スプリング盃の名称で実施しましたが、2014年からは同レースを4連覇したフジノウェーブの功績をたたえ、レース名を改称しました。翌月の交流競走・東京スプリントに向け、短距離路線を歩む有力馬たちが数多く出走します。



### 京浜盃 (SⅡ)

●3月24日(水)  
●1,700m  
4月のクラシック戦線開幕を間近に控え、3歳のトップクラスが勢揃いします。数多くのクラシック馬を輩出している伝統のレースで、地元デビューの素質馬だけでなく、初めてTCKコースに参戦する他場の所属馬や、他地区から転入した馬の走りなど、クラシックロードを占う上で注目の一戦です。

## 4月の開催予定

競馬開催日	①木	②金	③土	④日	⑤月	⑥火	⑦水	⑧木	⑨金	⑩土	⑪日	⑫月	⑬火	⑭水	⑮木	⑯金	⑰土	⑱日	⑲月	⑳火	㉑水	㉒木	㉓金	㉔土	㉕日	㉖月	㉗火	㉘水	㉙木	㉚金
大井																														
川崎																														
船橋																														
浦和																														



### ブリリアントカップ (SⅢ)

●4月13日(火)  
●1,800m

5月に行われる大井記念(SⅠ)、さらに6月に行われる帝王賞(JpnⅠ)を目指す、古馬中距離戦線の馬たちがしのぎを削ります。トゥインクルレース開幕を飾る最初の重賞レースとして注目が集まります。



### 東京スプリント (JpnⅢ)

●4月14日(水)  
●1,200m

秋の東京盃(JpnⅡ)と並ぶ1,200mの交流競走です。昨年はJRA所属馬のジャスティン号がこのレースを制したのち、東京盃を制するなど、秋の短距離交流重賞につながる一戦となります。



### 東京プリンセス賞 (SⅠ)

●4月28日(水)  
●1,800m

浦和の桜花賞に続く、南関東牝馬クラシック三冠レースの第2弾。若き乙女たちが3歳女王の座を賭けて火花を散らします。牝馬クラシック路線を順調に進んできた有力馬と春に急成長した新勢力との華麗な戦いが繰り広げられます。



### 羽田盃 (SⅠ)

●4月29日(木祝)  
●1,800m

レース名は、東京での最初の競馬が1927年に羽田で開催されたことに由来します。南関東3歳クラシック戦線の第一関門となる1,800m戦は、スピードだけでなく持久力も重要な要素です。TCK重賞の中でも上位人気馬が強いレースとして知られています。

※実際の運行状況等はTCKのホームページをご確認ください。

#### ■交通のご案内

●無料バスのご案内  
大井町線(東急バス)  
往路: JR大井町駅(中央口東・7番停留所)  
復路: 正門2番乗り場より運行

●その他の交通機関のご案内(有料)  
東京モノレール「大井競馬場前」駅下車、徒歩2分  
京浜急行「立会川」駅(急行停車)下車、徒歩12分

#### ■駐車場ののご案内

●復路のみの無料バスのご案内  
①品川駅経由目黒線(都バス・品93系統路線バス)  
復路: 正門1番乗り場より運行  
②JR品川駅直行バス(都バス)  
★トゥインクルレース開催及び年末開催中のみ運行  
復路: 正門1番乗り場より運行

第1駐車場1,471台  
料金: 1日1台につき車1,000円、  
オートバイ200円  
※第2、3駐車場は混雑時のみ営業します。



## 編集

- 特別区長会事務局調査第1課 TEL (5210) 9738 ホームページhttp://www.tokyo23city-kuchokai.jp/
- 特別区議会議長会事務局 TEL (5210) 9731 ホームページhttp://www.tokyo23city-gichokai.jp/
- 特別区人事・厚生事務組合総務部企画財政課 TEL (5210) 9916 ホームページhttp://www.tokyo23city.or.jp/
- 公益財団法人特別区協議会総務部企画財政課 TEL (5210) 9917 ホームページhttps://www.tokyo-23city.or.jp/
- 東京二十三区清掃一部事務組合総務部総務課 TEL (6238) 0615 ホームページhttps://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/
- 特別区競馬組合競馬事務局開催サービス課 TEL (3763) 2170 ホームページhttps://www.tokyocitykeiba.com/